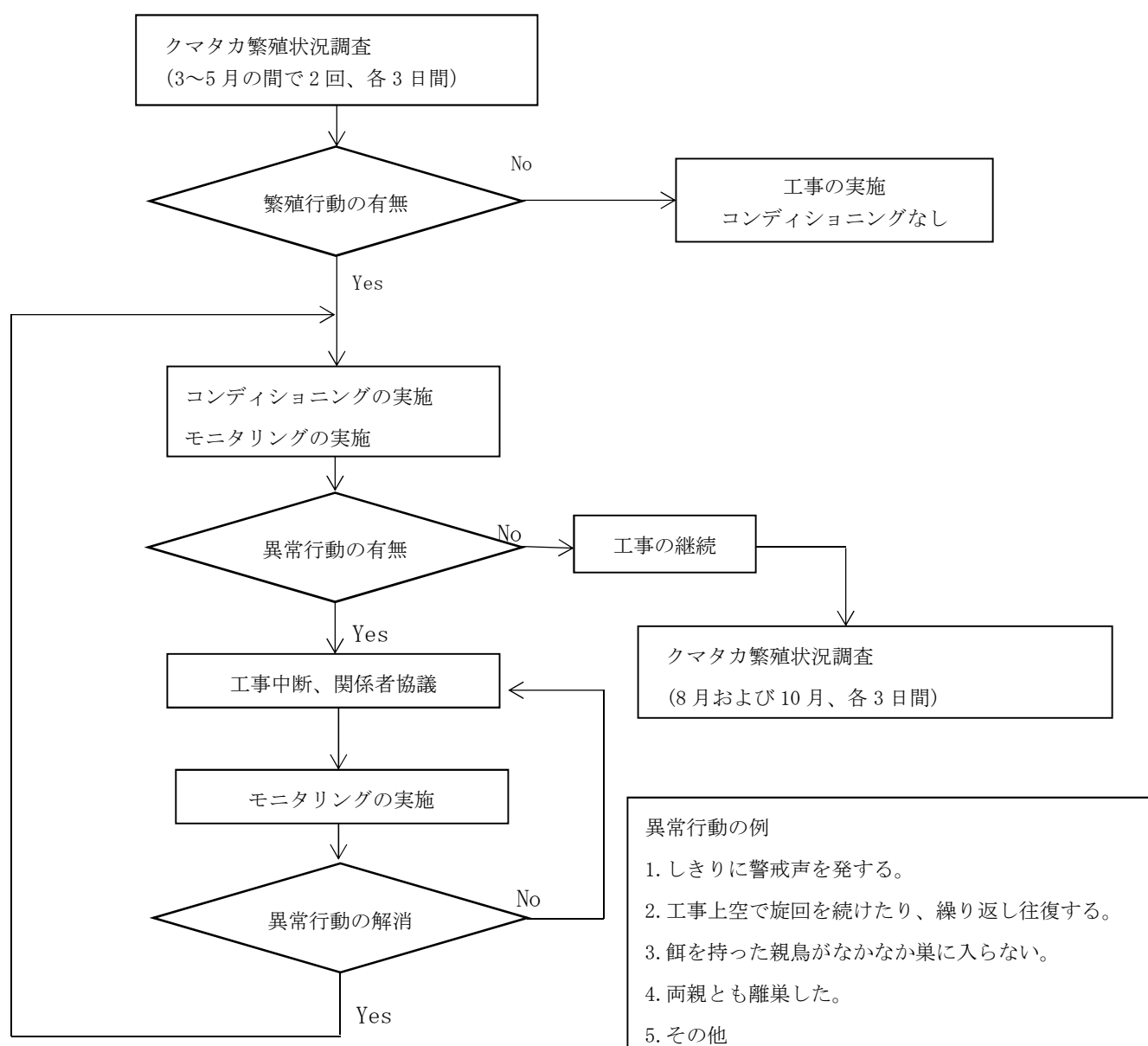


No.15

・サシバとクマタカについて今回の工事では一番影響が予想され、環境保全措置としてコンディショニングが予定されているが、その前に工期の変更を検討すべきではないか。例えば、工事現場が一本道でどうしようもないという場合は、なかなか工期の変更もできないかもしれないが、なぜクマタカとサシバのところで工期の変更を記載していないのか。

・コンディショニングを行うのであれば、アセス図書の中でフローチャートを示すべき。

下図に示すフローチャートを評価書に記載します。



猛禽類コンディショニングのフロー(案)

注1：第一土捨場については、冬季間（12月下旬～5月上旬頃、状況により前後）の使用を休止し、この期間は第三土捨場を仮置場として使用する。

コンディショニング (例)

	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
1日目		重機 設置			昼休み				
2日目					昼休み				
3日目					昼休み				

■ 作業時間

- ・クマタカのモニタリング(異常行動の有無の確認)をしながらコンディショニングを行う。
- ・作業 30 分を 1 ユニットとし、徐々に作業時間を長く、作業量を増やしていく。
- ・異常行動が見られた場合は作業を中断し関係者協議を実施する。
この場合、異常行動解消後、関係者協議内容を踏まえ作業を再開する。
- ・作業再開時には、コンディショニング（作業負荷を軽減した内容）を行う。